

ひとにやさしいまちづくりに関連する事業の取組状況について

推進方向の分野	番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況(予定)
1 ひとつくり	(1) 意識啓発の促進	① ユニバーサルデザイン推進事業	保健福祉部 地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催 ・県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰(知事表彰) ・県民・事業者等の理解を促進するため、リーフレット等を作成 ・ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(4回、)災害時に設置される避難所においても、ユニバーサルデザイン・ひとにやさしいまちづくりの視点から、様々な配慮が必要であることから開催方法を工夫して実施。 ＜内容＞ (11/13 地域福祉推進フォーラム) 講演「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策 氏 (2/14 災害地域福祉研修会) 報告「台風第10号災害等における岩手県災害派遣福祉チームの活動について」-台風第10号での活動から、避難所での要配慮者支援を振り返る- (2/16 LGBTの視点によるユニバーサルデザイン) 講演「ユニバーサルデザインの再考」 LGBTの視点による「ひとにやさしいまちづくり」とは 国立学校法人 弘前大学 助教 山下梓 氏 (2/19 災害福祉セミナー) 講演「災害福祉を考える～災害時の福祉的支援と法人・事業所の役割～」 (株)富士通総研コンサルティング本部 チーフシニアコンサルタント 名取直美氏 ○知事表彰の実施(該当なし) ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会の開催(2/9) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとにやさしいまちづくりセミナー(4回開催予定) ＜内容＞ (1/28 釜石合同庁舎) 講演「ユニバーサルデザインと公共建築」 行政説明 県土整備部 建築住宅課 (2/5 宮古合同庁舎) 講演「メディアユニバーサルデザインについて」 メディアデザイン 真山正太氏 (2/8 奥州合同庁舎) 講演「ユニバーサルデザインの再考」 LGBTの視点による「ひとにやさしいまちづくり」とは 国立学校法人 弘前大学 助教 山下梓 氏 (2/13 プラザおでって) 地域福祉フォーラム ○知事表彰(選考中) ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会運営(2/1)
		② 障がい者駐車場適正利用促進事業(ひとにやさしい駐車場利用証制度)	保健福祉部 地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしい駐車場利用証制度の運営(H22～) ・公共施設の障がい者用駐車場(車いす使用者用駐車施設)の適正利用を促進するため、県と施設管理者が協定を締結し、利用対象者に対して利用証を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用証発行件数 1,100件 長期(5年間) 1,026件(制度開始後累計 9,931件) 短期(最長1年間) 74件(制度開始後累計 873件) ○指定駐車施設 474施設 988区画 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用証発行件数 803件(平成30年12月末時点) 長期(5年間) 717件(制度開始後累計10,648件) 短期(最長1年間) 86件(制度開始後累計 959件) ○指定駐車施設 479施設 1,002区画(平成30年12月末時点)
		③ 宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議	沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古地域の公共的施設管理者や地域住民に対しユニバーサルデザインの普及・啓発を図るため、公共的施設や商店街の点検活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○宮古警察署庁舎新築工事に係る意見聴取会への参加 ○福祉避難所の調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施。平成30年度中にマップを作成・配布し、併せて、県HPに掲載する予定 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市新庁舎の現地確認及び意見交換を実施 ○田老総合事務所新庁舎建築工事への助言
		④ ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援	県北広域振興局保健福祉環境部	<ul style="list-style-type: none"> 「障がい者観光サポーターの会」 ・久慈地域の住民の障がい者に対する理解促進のため、障がい者観光サポーターが、情報共有を図りながら活動を展開 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援を実施。具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組を行っている。 【県の支援】 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○定例会時に実施するプチ研修参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)に参加 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は天候により中止 ○次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座)など

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況(予定)
1 ひとつくり	(2) 学ぶ機会の充実	①	特別支援学校医療的ケア体制整備事業	教育委員会 学校教育室	・経管栄養等の医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置	○看護師配置校7名、対象児童生徒数41名、任用看護師41名	○医療的なケアを必要とする児童生徒が在籍している学校に看護師を配置
		②	いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業	教育委員会 学校教育室	・高等学校に在籍している障がいのある生徒が学校生活に適應できるよう、非常勤職員を配置し受け入れ体制を整備	○県立高校37校に特別支援教育支援員(非常勤)39名を配置し、学校生活全般を支援	○県立高校に特別支援教育支援員(非常勤)40名を配置し、学校生活全般を支援
		③	いわて特別支援教育推進プラン実践事業	教育委員会 学校教育室	・「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、幼稚園から高等学校までの全ての学校において特別支援教育の役割を果たせるよう充実、強化を図る。	○教員研修受講者割合: 幼・小・中学校94%、高等学校100% ○特別支援教育ボランティア延べ登録者数236名 ○「交流籍」活用による交流及び共同学習実施学校数14校	○特別支援教育に関する悉皆研修や希望研修等を実施。 ○ボランティア養成講座を実施し、特別支援教育の理解を図るとともに、ボランティア登録の働きかけを推進 ○全ての県立特別支援学校において、児童生徒の居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施
		④	特別支援学校キャリア教育推進事業	教育委員会 学校教育室	・職業教育の充実を図るため、特別支援学校(高等部)に職業指導支援員を配置し、作業学習等の生徒への支援・教職員の補助、授業の補助具等教材の作成を行う。	○職業指導支援員配置校5校、任用職業指導支援員6名	○沿岸地区の特別支援学校4校及び盛岡峰南高等支援学校に職業指導支援員を配置し、就労支援を推進
		⑤	ユニバーサルデザイン学習支援事業	県北広域振興局二戸保健福祉環境センター	・管内の小中学校に対し、講師の斡旋・派遣等によりUDに関する学習の支援を行う。 ※派遣等については、事前に希望調査を実施。	○管内小学校8校において、UD学習支援講座を計9回実施。 【実施校】 ・長興寺、金田一小、鳥海小(手話体験) ・浄法寺小(点字体験) ・奥中山小、一戸南小、浄法寺小、御返地小、石切所小(障がい者のお話を聞く会) ○市町村社会福祉協議会主催の福祉体験学習への協力	○管内の小学校5校において、UD学習支援講座を実施。 【実施校】 ・金田一小、一戸小、長興寺小(手話体験) ・鳥海小(点字体験) ・石切所小(障がい者のお話を聞く会)
		⑥	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター	・小学校の総合学習等において、ユニバーサルデザインの学習を支援	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○宮古警察署庁舎新築工事に係る意見聴取会への参加 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市立磯鶏小学校の総合学習発表会で講評を行い、併せて、ユニバーサルデザインに係るパンフレットを配布	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施。平成30年度中にマップを作成・配布し、併せて、県HPに掲載する予定 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市新庁舎の現地確認及び意見交換を実施 ○田老総合事務所新庁舎建築工事への助言
		⑦	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	県北広域振興局保健福祉環境部	「障がい者観光サポーターの会」 ・久慈地域の住民の障がい者に対する理解促進のため、障がい者観光サポーターが、情報共有を図りながら活動を展開 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援を実施。具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組を行っている。 【県の支援】 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○定例会時に実施するプチ研修参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)に参加 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は天候により中止 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況（予定）
1 ひとつくり	(3) 人材・組織の育成	①	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催	○ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(4回実施) 11/13(盛岡市)、2/14(宮古市)、2/16(大船渡市)、2/19(盛岡市)	○ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(4回実施予定) 1/28(釜石市)、2/5(宮古市)、2/8(奥州市)、2/13(盛岡市)
		②	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター	・宮古地域におけるユニバーサルデザインの推進について地域の障がい当事者、社会福祉協議会、建築士会や建設組合等の関係団体が協力し、地域ニーズを取り入れながら進めることを目的とし、宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議を設置	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○宮古警察署庁舎新築工事に係る意見聴取会への参加 ○福祉避難所の調査を実施	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施。平成30年度中にマップを作成・配布し、併せて、県HPに掲載する予定 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市新庁舎の現地確認及び意見交換を実施 ○田老総合事務所新庁舎建築工事への助言
		③	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	県北広域振興局保健福祉環境部	「障がい者観光サポーターの会」 ・久慈地域の住民の障がい者に対する理解促進のため、障がい者観光サポーターが、情報共有を図りながら活動を展開 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援を実施。具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組を行っている。 【県の支援】 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○定例会時に実施するプチ研修参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)に参加 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施。	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は天候により中止 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座など
		④	「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」事業	保健福祉部 地域福祉課	・東日本大震災津波においては、ボランティアの受入に関し、関係機関・団体の連携が不十分であったことなど様々な問題点が指摘されたことから、平成26年3月に「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定 ・指針において掲げた基本的視点(「地域の受援力を高める取組の推進」及び「関係機関・団体のネットワークの構築」)を具体化するため、主に以下の取組を実施 ①「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議の開催(構成員:県社協、日赤県支部、ifc、遠野まごころネット、SAVE IWATE、県立大学、盛岡市、雫石町、大船渡市社協、一関市社協) ②①の連絡会議が主催する研修会を開催	○連絡会議開催(11/9) ○防災ボランティア活動支援団体の相互理解・連携に係る研修会(3月実施)	○連絡会議開催(3月開催予定) ○防災ボランティア活動支援団体の相互理解・連携に係る研修会(2月実施予定)
2 まちづくり	(1) まちづくり全体(総合的まちづくりの推進)	①	ひとにやさしいまちづくり条例に基づく県が新築または新設する特定公共的施設に係る意見聴取実施要領	保健福祉部 地域福祉課	・県が新設する特定公共的施設のうち、次に該当するものについて障がいのある方、高齢者の方、子育て中の方などから意見を聴取する機会を設けるもの。 1 床面積合計が2千平方メートル以上の建築物 2 区域面積5千平方メートル以上の公園・遊園地・動物園・植物園その他これらに類するもの	○4回(9/7みたけ学園・みたけの園、10/25宮古警察署、11/6県立療育センター、2/27 宮古警察署)	○1回(久慈警察署2/14)
		②	岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク	県南広域振興局花巻保健福祉環境センター	・岩手中部地域のひとにやさしいまちづくりを、子ども、子育て中の女性、障がい者、高齢者、事業者、県、市町村等のすべての住民が参加して、総合的、計画的に推進するため、岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議を設置。	○活動実績なし	—

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況（予定）
2 まちづくり	(2) 公共的施設・建築物	①	ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託	県土整備部 建築住宅課	・ひとにやさしいまちづくり条例の施行に関する事務を市町村に委託 【委託事業】 經由事務・協議書審査、調査、検査事務 ※協議書審査における助言・指導等により整備基準の適合率向上を促し、ユニバーサルデザイン化推進の一旦を担う。	○年度末に市町村事務処理委託件数の集計を実施	○年度末に市町村事務処理委託件数の集計を実施
		②	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター	・宮古地域の公共的施設管理者や地域住民に対しユニバーサルデザインの普及・啓発を図るため、公共的施設や商店街の点検活動を実施	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○宮古警察署庁舎新築工事に係る意見聴取会への参加 ○福祉避難所の調査を実施	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施。平成30年度中にマップを作成○配布し、併せて、県HPに掲載する予定 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市新庁舎の現地確認及び意見交換を実施 ○田老総合事務所新庁舎建築工事への助言
	(3) 交通機関等	①	バス運行対策費	政策地域部 交通政策室	・路線バス事業者が、主として国庫補助を受けている不採算路線を運行するために用いるバス車両を購入する場合に要する経費に対して補助	【ジェイアールバス東北株】 ノンステップバス(スロープ付き)2台購入 総事業費:31,969千円 県補助額:1,750千円	【ジェイアールバス東北株】 ノンステップバス(スロープ付き)2台購入 総事業費(予定):31,969千円 県補助額(予定):3,000千円
		②	公共交通バリアフリー化設備等整備費補助	政策地域部 交通政策室	・鉄道事業者が、鉄道駅のバリアフリー化を行う際の経費に対して、関係市町村が補助する場合の経費の一部を補助	-	-
	(4) 道路	①	都市計画道路整備事業	県土整備部 都市計画課	・都市における安全かつ快適な交通を確保するとともに、都市の骨格をなす施設として、健全な市街地の形成、活力と魅力ある快適な都市形成に寄与し、併せて防災上の役割を果たす等都市の基盤となる街路を都市計画に基づき整備	○県内5箇所の街路整備を推進(盛岡駅本宮線、山目駅前釣山線、盛岡駅長田町線、荒瀬上田面線、上野西法寺線)	○県内5箇所の街路整備を推進(盛岡駅本宮線、山目駅前釣山線、盛岡駅長田町線、荒瀬上田面線、上野西法寺線)
		②	交通安全施設等整備事業	県土整備部 道路環境課	・最も基本的な移動手段である歩行のための空間を安全で快適なものとするため、交通安全施設の整備を実施 1歩道の設置・拡幅・平坦化・段差解消、視覚覚障がい者誘導ブロックの設置 2無電柱化	○歩道整備:歩道整備40箇所(うち完了予定5箇所(花巻市関口、北上市飯豊、一関市保呂羽、矢柄沢、二ツ壇) ○無電柱化整備:平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を継続	○歩道整備(歩道整備40箇所。うち完了予定5箇所(花巻市関口、北上市飯豊、一関市保呂羽、矢柄沢、二ツ壇) ○無電柱化整備(平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を継続)
	(5) 住宅	①	住宅相談コーナーの開設	県土整備部 建築住宅課	・県民の各種住宅相談(含むバリアフリー改修等)に対応する窓口を設置するとともに、各種資料の提供を行うことにより、住宅のユニバーサルデザインの普及を促進	○住宅相談コーナーにて定期住宅相談会を開催(月2回) ○いわて住まい情報発信局によるホームページ運営及びメールマガジン発行(週1回) ○H29で事業終了。 情報提供については各種書籍、WEBサイト等の充実により相対的に公の役割が低下したことや、相談会利用実績が低調であることから事業を終了。	-
		②	住みたい岩手の家づくり促進事業	県土整備部 建築住宅課	・誰もが住みやすい良質な住宅(岩手型住宅)の普及を図るため、省エネルギーに優れ、県内各地域の気候や風土といった地域性に配慮した住宅建設に取り組もうとする工務店を広く県民にPRし、顧客の獲得を支援 ・住宅着工の大幅な落ち込みを踏まえ、経済の活性化を目的に県産材を利用した岩手型住宅の新築、増築に対し助成を実施(H22年度～)	○新築21戸	○新築20戸 ○建築関係団体を通じた周知や、県のホームページや各種広報媒体を活用した周知を実施。また、(独)住宅金融支援機構が実施する【フラット35】子育て支援型との連携により、子育て世帯を支援

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況(予定)
2 まちづくり	(5) 住宅	③	公営住宅建設事業(県営住宅の建設改修)	県土整備部 建築住宅課	・国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を建設し、又は既存ストックを改善して、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸を行う。 ・建設、改善に際しては、ユニバーサルデザイン化を行い、共同住宅におけるユニバーサルデザイン化のモデルとして民間への普及を図る。	○備後第1アパート建替工事(13号棟) ○天下田アパート住戸改善工事 他	○天下田アパート住戸改善工事 他
		④	高齢者及び障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助	保健福祉部 長寿社会課	・要援護高齢者及び重度身体障がい者の在宅での自立した生活を支援するとともに、その介護者の負担の軽減を図るため、市町村が在宅の要援護高齢者及び重度身体障がい者の世帯の住宅改修に必要な経費に対し助成する場合に、その事業費の一部に対して補助金を交付	○補助対象件数 170件 (実施市町村数 27市町村、県補助金額 23,375,000円、主な改修内容 トイレ改修、浴室改修)	○補助対象件数156件、実施市町村数 27市町村、補助所要額3,476千円(30.11.1時点)
	(6) 観光地	①	国際観光推進事業費	商工労働観光部観光課	・効果的な情報発信を行い、知名度向上を図るとともに、外国人観光客の受入態勢の整備を行う。	○外国人観光客受入促進環境整備事業補助金交付決定件数 ICT環境整備27件、外国語表示21件、トイレ環境整備15件	○外国人観光客等受入促進環境整備事業補助金交付決定件数 Wi-Fi整備等のICT環境整備 3件、外国語表示整備14件、トイレの洋式化5件(H30.11.30現在)
		②	観光施設機能強化事業(全県観光案内板の改修)	商工労働観光部観光課	・本県を訪れる外国人観光客の大半を占めるアジア圏からの観光客のため、現状の日本語・英語の表記に中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の表記を加える。	○実績なし	○必要に応じて改修等行う
		③	いわてバリアフリー観光情報案内所	(公財)岩手県観光協会	(公財)岩手県観光協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、バリアフリー対応状況などについて、高齢者、障がい者等へ観光情報の提供を行うほか、受入に向けた研修会等を実施する。	平成30年度からの実施	○協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を開設 ○協会HP(「いわての旅」)に、賛助会員の宿泊施設におけるバリアフリー対応状況を掲載 ○観光・宿泊施設等における意識啓発のための研修会、セミナーの開催
		④	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共施設を利用できることを目的に、県内公共施設のバリアフリー設備等の情報を公共施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○登録施設数1,478施設 ○県の広報媒体等で周知(Twitter、セミナーでの配付)	○県の広報媒体を活用したマップの周知(県Twitterを活用した配信) 施設等の新規登録
		⑤	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター	・東日本大震災からの復興に向けたまちづくりにおいて、障がいの有無に関わらず、多くの方が宮古地域の観光支援に来ていただけるよう、再建計画のある宿泊施設に対し、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を行う。	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○宮古警察署庁舎新築工事に係る意見聴取会への参加 ○福祉避難所の調査を実施	○山田町版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施。平成30年度中にマップを作成・配布し、併せて、県HPに掲載する予定 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施 ○宮古市新庁舎の現地確認及び意見交換を実施 ○田老総合事務所新庁舎建築工事への助言
		⑥	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	県北広域振興局保健福祉環境部	「障がい者観光サポーターの会」 ・久慈地域の住民の障がい者に対する理解促進のため、障がい者観光サポーターが、情報共有を図りながら活動を展開 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援を実施。具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組を行っている。 【県の支援】 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○定例会時に実施するプチ研修参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)に参加 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施	○定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は天候により中止 ○次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 ○介助ボランティア、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座の実施

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況（予定）
2 まちづくり	(6) 観光地	⑦	障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例推進事業	県南広域振興局保健福祉環境部	平泉中尊寺月見坂を、障がいがある人となない人が車いすで登りながら交流することにより、障がいへの理解を深める。	○平泉ユニバーサルデザイン推進会議(実行委員会)の開催(推進会議2回、実行委員会1回) ○平泉ユニバーサルデザインモニターツアーの実施(1回) ○平泉観光介助ボランティア養成研修会の開催(1回) ○弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会の開催(1日) ○平泉ユニバーサルデザイン観光情報サイトの運用	○弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会の開催(1日)
	(7) 公園・水辺空間等	①	広域公園整備事業	県土整備部都市計画課	・地方生活圏等広域的なブロック内のレクリエーション需要への対応、自然的・歴史的環境や、住民の生活環境の保全機能、防災機能の確保等を目的として、都市計画法に基づき都市計画決定された公園を整備 ・整備に当たっては、移動等円滑化の促進に関する基本方針を踏まえ、園路及び広場、駐車場、便所等について整備、更新を推進	○管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進	○管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進
	(8) 商店街	①	地域貢献活動計画公表制度	商工労働観光部経営支援課	・床面積6,000㎡超の特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書の提出を受け、これを広く公表することにより、設置者の地域貢献への取組を地域住民に周知し、設置者の積極的な取組を支援する制度 ※地域貢献活動の一つとして、「ひとにやさしいまちづくりへの協力」が位置付けられている。	○33施設から地域貢献活動計画書の提出があり、当課ホームページで公表	○地域貢献活動計画書及び実施状況報告書について、提出された都度、随時当課ホームページで公表中 ○優良事例を県ホームページへの掲載等により今後公表予定
3 ものづくり	(1) 製品開発 (2) 製品利用	①	地方独立行政法人岩手県工業技術センター運営費交付金(ユニバーサルデザイン製品にかかる開発支援)	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	・ユニバーサルデザイン製品にかかる研究開発※センターにおける研究テーマとして実施(「〇〇事業」といった位置付けはなし)	○コンブウッド処理材を使った生活用品(アームチェア、スツール、靴ベラ)を試作し、全国の木材製品を展示する「WOODコレクション2018」へ出展した。 ○学生(専門学校、短大)に対するユニバーサルデザインに関する講義	○企業等における鉄器、磁器及び椅子の開発を支援中 ○人にやさしいものづくり入門セミナーを(一社)人間生活工学研究センターとの共催により実施 ○専門学校生、岩手県立大学盛岡短期大学部学生に対してユニバーサルデザインに関する講義を実施し、併せて県内企業が開発した製品を紹介
		②	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部地域福祉課	・県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰(知事表彰)	該当なし	選考作業中

推進方向の分野		番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況(予定)
4 情報・サービス	(1) 情報	①	地域福祉推進支援事業	保健福祉部 地域福祉課	・地域住民が抱える課題の抽出とその課題に対する住民による解決策を探る「支え合いマップ」手法を習得し、住民同士支え合う地域づくりを推進(H25～)	○支え合いマップ・インストラクター養成講座(5日間)35名修了	○支え合いマップインストラクター養成講座(5日間)通常講座5日間、被災者支援にあたっている、生活支援相談員を対象とした養成講座(被災者生活支援事業)(5日間)、計10日間 54名修了
		②	救助事務費(災害福祉地域研修会)	保健福祉部 地域福祉課	・市町村担当者、社協職員、福祉関係事業者等を対象に、災害時要援護者避難支援対策に係る研修会を開催し、市町村の取組を支援	○災害福祉地域研修会開催(宮古、盛岡会場で開催)参加者 宮古:32名 盛岡:86名	県内2地区で開催予定(参加定員:各50名)
		③	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業	保健福祉部 障がい保健福祉課	・手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣することにより、視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進	○点訳奉仕員の養成・研修(延べ219名) ○音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修(延べ359名) ○手話通訳者養成講習会修了者4名。手話通訳者現任者研修(延べ133名)、手話通訳者登録試験合格者3名。 ○手話通訳者の派遣39名。 ○要約筆記養成(後期)修了者13名。要約筆記現任者研修会(スキルアップ1、2)53名(レベルアップ3)32名。 ○要約筆記者の派遣33名。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者8名。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣238件。 ○身体障がい者パソコンサポーター養成研修2回開催。パソコンサポート件数144件。 ○点字新聞(JBニュース)の提供年間51回。	○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ○身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ○点字新聞(JBニュース)の提供
	(2) 情報化対応	④	県内広報事業費(いわてグラフ作成)	秘書広報室 広聴広報課	・「復興計画」や「いわて県民計画」に基づく県政運営方針や各種施策等を効果的に広報し、県民との相互理解・信頼関係を築くとともに、県政への積極的な参画と協働の更なる促進に資する。	○年5回(6月、8月、10月、12月、3月)発行。	6月、8月、10月、12月発行済。3月発行予定。
		⑥	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共的施設を利用できることを目的に、県内公共的施設のバリアフリー設備等の情報を公共的施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○登録施設数1,478施設 ○県の広報媒体等で周知(Twitter、セミナーでの配付)	○県の広報媒体を活用したマップの周知(県Twitterを活用した配信)
		①	県内広報事業費(ホームページ改修)	秘書広報室 広聴広報課	・高齢者や障がいのある人を含めて、誰もがホームページで提供される情報や機能を支障なく使用できることが重要であることから、新たなCMSを構築し、ウェブアクセシビリティの維持・向上を図る。 また、ウェブアクセシビリティに関する職員研修を行い、職員の意識啓発を図る。	○JISに対応したホームページの品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援(不備を発見の都度、指摘、修正依頼等) ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修を実施 ○情報を探しやすいホームページにするため、不要コンテンツの削除を実施 ○平成28年に示された新JIS規格(JIS-X8341-3:2016)レベルAAIに準拠するための対応として、試験を実施した。試験の結果はレベルA一部準拠であった。実施後、問題のあったページの修正を行い、結果を公表。	○JISに対応したホームページ品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援(不備を発見の都度、指摘、修正依頼等)。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修の実施。 ○平成28年に示された新JIS規格(JIS-X8341-3:2016)レベルAAIに準拠するための対応(各室課への修正依頼等)。 ○情報を探しやすいホームページにするため、不要コンテンツの削除の実施。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページが容易に作成できるよう、ホームページのリニューアルを実施。
(3) サービス	①	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催	○ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(4回)11/13(盛岡市)、2/14(宮古市)、2/16(大船渡市)、2/19(盛岡市)	○ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(4回実施予定)1/28(釜石市)、2/5(宮古市)、2/8(奥州市)、2/13(盛岡市)	

推進方向の分野	番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	平成29年度実績	平成30年度の取組状況（予定）
5 社会参加	①	子育て応援推進事業費（iファミリーサービス事業）	保健福祉部 子ども子育て支援課	・事業に協賛する店舗、企業の協力により、買い物や遊びに出かける妊婦や子どもの連れの家庭に割引や特典、優先席や授乳スペースの提供などのサービスを提供	○協賛店登録の募集活動：協賛店登録数1,845店舗 ○登録証及びステッカー等の交付 ○応援の店ガイドブックの作成	○協賛店登録の募集活動 ○登録証及びステッカー等の交付
	②	認知症対策等総合支援事業	保健福祉部 長寿社会課	・認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症に対する正しい知識と理解に向けた啓発を図るとともに、認知症疾患医療センターを中心とした安心の認知症医療体制の構築等を推進 1 認知症介護実践者等養成事業 2 認知症地域医療支援事業 3 認知症疾患医療センター運営事業 4 認知症施策推進会議 5 若年性認知症支援コーディネーター配置事業	○ 認知症介護実践者等養成研修修了者数 ①基礎研修267名、②実践者研修418名、 ③リーダー研修68名、④サービス事業管理者研修142名、 ⑤計画作成担当者研修44名、⑥サービス事業開設者研修32名、 ⑦指導者養成研修2名、⑧フォローアップ研修1名 ○ 認知症地域医療支援事業 ①認知症サポート医養成研修修了者 25名（合計118名） ②かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数 241名（合計1,294名） ③病院勤務医療従事者等認知症対応力向上研修修了者数 129名 ④歯科医師認知症対応力向上研修修了者数 88名 ⑤薬剤師認知症対応力向上研修修了者数 552名 ⑥看護職員認知症対応力向上研修修了者数 40名 ○ 認知症疾患医療センター運営事業 基幹型（岩手医大）、地域型（宮古山口病院、国立花巻病院、北リアス病院）合計 相談2,419件、鑑別診断472件、入院168件 ○ 認知症施策推進会議 推進会議1回開催 ○ 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 ネットワーク会議1回開催 ○ 認知症サポーター養成数 総計145,898名 ○ 孫世代のための認知症講座 小学校71校、中学校15校 ○ いわて認知症の人と家族の電話相談 相談件数 69件	○ 認知症介護実践者等養成事業（認知症介護実践者研修等の開催） ○ 認知症地域医療支援事業（認知症サポート医養成研修、かかりつけ医等認知症対応力向上研修、医療従事者向け認知症対応力向上研修、歯科医師認知症対応力向上研修、薬剤師認知症対応力向上研修、看護職員認知症対応力向上研修） ○ 認知症疾患医療センター運営事業 ○ 認知症施策推進会議 ○ 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 ○ 孫世代のための認知症講座開催 ○ 認知症サポーター養成講座開催 ○ いわて認知症の人と家族の電話相談室
	③	都道府県地域生活支援事業（岩手県身体障害者補助犬給付事業）	保健福祉部 障がい保健福祉課	・重度の視覚障がい者、肢体不自由者、聴覚障がい者に対し、行動範囲を拡大するとともに社会参加と自立更生を促進し、福祉の増進を図るため、身体障害者補助犬法第2条に定める身体障害者補助犬を給付	○育成数1頭	○育成数2頭
	④	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業（再掲）	保健福祉部 障がい保健福祉課	・視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣	○点訳奉仕員の養成・研修（延べ219名） ○音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修（延べ359名） ○手話通訳者養成講習会修了者4名。手話通訳者現任者研修（延べ133名）、手話通訳者登録試験合格者3名 ○手話通訳者の派遣39名 ○要約筆記者養成（後期）修了者13名。要約筆記者現任者研修会（スキルアップ1、2）53名（レベルアップ3）32名 ○要約筆記者の派遣33名 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者8名 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣238件 ○身体障がい者パソコンサポーター養成研修2回開催、パソコンサポート件数144件 ○点字新聞（JBニュース）の提供年間51回	○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ○身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ○点字新聞（JBニュース）の提供